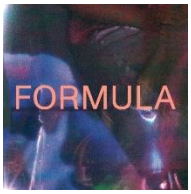
プレスリリース

2022 年 8 月 19 日
サンライズプロモーション東京



森山未來×中野信子×エラ・ホチルド
パフォーマンス公演「FORMULA」
世界的トップクリエイターが集結し、没入型アートコンプレックスへ。

表現者／森山未來、脳科学者／中野信子、振付家／エラ・ホチルドが発起人となって始まった、パフォーマンス公演「FORMULA」に新たに参加が決定したクリエイターをご紹介いたします。

セノグラフィー
川俣正

衣裳
廣川玉枝

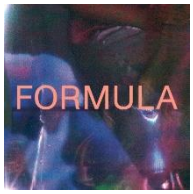
音楽
原摩利彦

グラフィックデザイン
岡﨑真理子

Message

今作は単なる舞台鑑賞としてではなく、ロビーを含めた劇場空間全体を
まるで展示空間のように構築することで、
「FORMULA」の世界をより深く体感/共有してもらいたいと考えています。
ひとつのコンセプトの元に集まっていただいた素晴らしいアーティストたちの作品に触れていただき、
それらを鑑賞するプロセスと共にダンスパフォーマンスがある。
そんな視覚体験だけに留まらない、非日常的な空間そのものを体感しに
劇場へ足を運んでいただければ幸いです。

森山未來



「FORMULA」

森山未來×中野信子×エラ・ホチルド
没入型パフォーミングアーツ 今秋開幕

俳優でアーティストでもある森山未來と世界的ダンサーのエラ・ホチルドが
共に踊り続け行き着いた先は、劇場を没入感あふれる空間に。
ふたりの踊りは、脳科学者・中野信子の圧倒的科学知識と共に人類との対話へ。
さらに国際的にも活躍する多数のアーティストが参加し、劇場はまるでアートコンプレックス。

Theme/Introduction

パフォーマンス×脳科学の新作プレゼンテーション

死の定義はどこにあるのか。肉体が死ぬことなのか、脳が死ぬことなのか、または他者の記憶に存在していることは“生きている“といえるのか。本公演では、〈パフォーマンス×脳科学のプレゼンテーション〉をテーマに掲げ、科学というものが圧倒的な解を持っていると信じて疑わないこの現代社会で、抽象的とされる身体表現、特にコンテンポラリーダンスの領域に、脳科学/認知科学の見地を持ち込み、
新たなパフォーミングアーツをお届けいたします。

数学の世界においては「公式」、料理の世界では「調理法」、心理学の用語としては「身体を動かすための手順」といった意味で使われる”FORMULA”。そもそも言葉とはどのように私たちの意識となり、
私たちの身体を動かすのか。あらゆる方法で他者とのつながりを築こうとしてきた私たち人間を、
脳科学者/中野信子の科学的知見や、本公演のために来日するダンサー/エラ・ホチルドの身体性を通して
森山未來のとめどない探求心が生み出すテーマを紐解きながら、同時代に生きる私たちの死生観を
再考するための実験的な「レシピ」を提案いたします。

Direction

森山未來×中野信子×エラ・ホチルドによる異色のコラボ

構成・演出・振付などすべてにおいて今回の公演に挑む 3 名。
映像、舞台、ダンスとジャンルにとらわれない表現者である森山未來、
脳科学者として研究や執筆を多方面にて行い確立した地位を持つ中野信子、
国際的に高い評価を得ている「BATSHEVA(バットシェバ)」「KIDD PIVOT(キッド・ピボット)」など、
世界の名だたるダンスカンパニーで活躍してきた振付家・ダンサーのエラ・ホチルド。
ダンスと科学という、一見縁がなさそうな 2 つのジャンルの融合から生まれる、
これまでにないステージ、それが『FORMULA』

森山未來
Mirai MORIYAMA

「関係値から立ち上がる身体的表現」を求めて、領域横断的に国内外で活動を展開。2021 年 3 月 11 日に京都・清水寺で行われたパフォーマンス「Re:Incarnation」の総合演出を務め、6 月には岡田利規 作・演出「未練の幽霊と怪物」に出演。2022 東京オリンピック開会式では鎮魂の舞を踊った。2022 年 4 月より神戸市に Artisti in Residence KOBE(AiRK)を設立、運営に携わる。ポスト舞踏派。

中野信子
Nobuko NAKANO

脳科学者、医学博士、認知科学者。脳や心理学をテーマに研究や執筆の活動を精力的に行う。科学の視点から人間社会で起こりうる現象及び人物を読み解く語り口に定評がある。

エラ・ホチルド
Ella ROTHSCHILD

マルチディシプリナリー・アーティスト。イスラエル出身。様々な分野のアーティストとの共同創作に取り組み、独自の作品を発表している。2016 年にはイスラエル文化庁より、10 Years Of Creation (10 イヤーズ・オブ・クリエイション)賞を授与された。

世界的一流ダンサーとアート/音楽/ファッション各業界のトップクリエイターが集結
劇場がまるでアートコンプレックス 視覚体験を超えた第六感を揺さぶるプレゼンテーション

Message

今作は単なる舞台鑑賞としてではなく、ロビーを含めた劇場空間全体を
まるで展示空間のように構築することで、
「FORMULA」の世界をより深く体感/共有してもらいたいと考えています。
ひとつのコンセプトの元に集まっていただいた素晴らしいアーティストたちの作品に触れていただき、
それらを鑑賞するプロセスと共にダンスパフォーマンスがある。
そんな視覚体験だけに留まらない、非日常的な空間そのものを体感しに
劇場へ足を運んでいただければ幸いです。

森山未來

川俣正

廣川玉枝

原摩利彦

岡﨑真理子

Creator

セノグラフィー/衣裳/音楽/グラフィックデザイン 森山未來がキュレーションする各業界のトップクリエイター

世界で活躍するダンサーが本公演でタッグを組むのは、国内外で幅広く活躍するアーティスト達。
さまざまな舞台を踏んできた森山未來とエラ・ホチルドならではの視点にてキュレーションし、
没入型パフォーミングアーツを各業界の第一線で活躍するトップクリエイターらと共に創り出す。

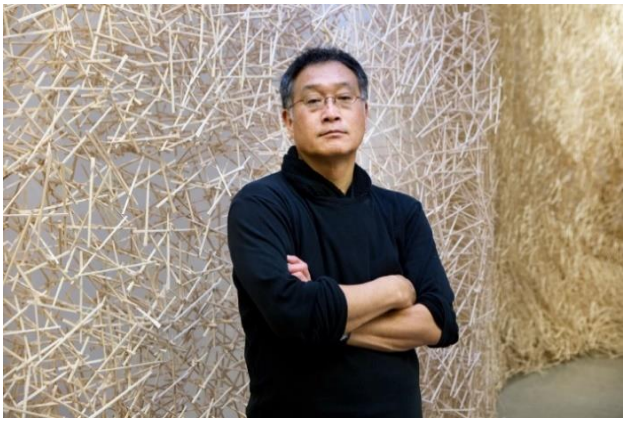
セノグラフィー/舞台美術を手がけるのは、国内外で斬新な現代アートプロジェクトを数多く展開し、
国際的に高い評価を受けてきた美術家の川俣正。国内では初となる舞台美術を総合的に手がける。

衣裳デザインは、自身のブランド[SOMARTA]で「第二の皮膚」と評される無縫製ニット“Skin series”など
唯一無二の衣服を手掛けることでも知られる廣川玉枝が参加。
アシックスと協業した東京 2020 オリンピックの表彰台ジャケットは大きな話題となった。

音楽は今年ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展でも新作発表をしたボーダーレスなアーティスト集団
”ダムタイプ”にも参加し、最近は積極的に話題の映像/舞台作品にも楽曲提供をする原摩利彦。

また、グラフィックデザインには建築、美術、ファッション等の文化領域を中心に、観察とコンセプチュアルな思考に基づいた、編集的/構造的なデザインを探求し数々の広告も手がける岡﨑真理子を起用。

Scenography



©kamel Mennour

川俣正
Tadashi KAWAMATA

ワーク・イン・プログレスという制作方法を用いたプロジェクトが特徴的な美術家。1982 年に第 40 回ヴェネチア・ビエンナーレに初参加したのち、ドクメンタをはじめ世界各国で数々の現代美術の美術展覧会に作品を出品してきた。国内では大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレにも参加。11 月 13 日まで「スノーフェンス」を展示中。

1999 年には第 7 回日本現代藝術振興賞の受賞をはじめ、2000 年の日本文化芸術振興賞、2013 年には芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

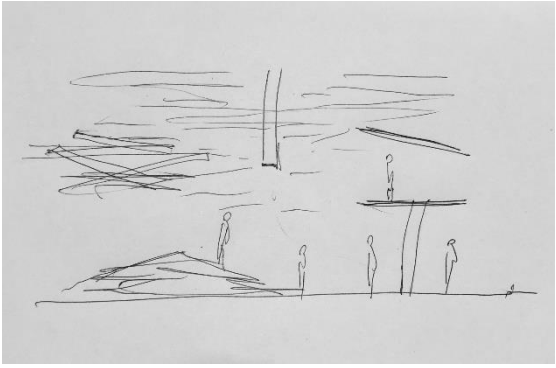
『FORMULA』では、舞台美術を手がける国際的アーティスト川俣正が
本公演のためのアートピースが舞台上に出現予定。
森山未來が世界を旅して出会った川俣正の壮大な現代アートからインスピレーションを受け
本公演の作品コンセプトに合わせ新たに制作される。

Scenography/References

左はインスピレーションを与えた「Tree Hut Installation in Madison Square park in New York City USA」(2008 年)
右は最新作、大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレで展示中の「スノーフェンス」(2022 年)

Scenography/Sketch

本作セノグラフィーのラフスケッチ。ここからどんな作品に発展していくかぜひお楽しみに。



Costume

廣川玉枝
Tamae HIROKAWA

SOMA DESIGN
Creative Director / Designer

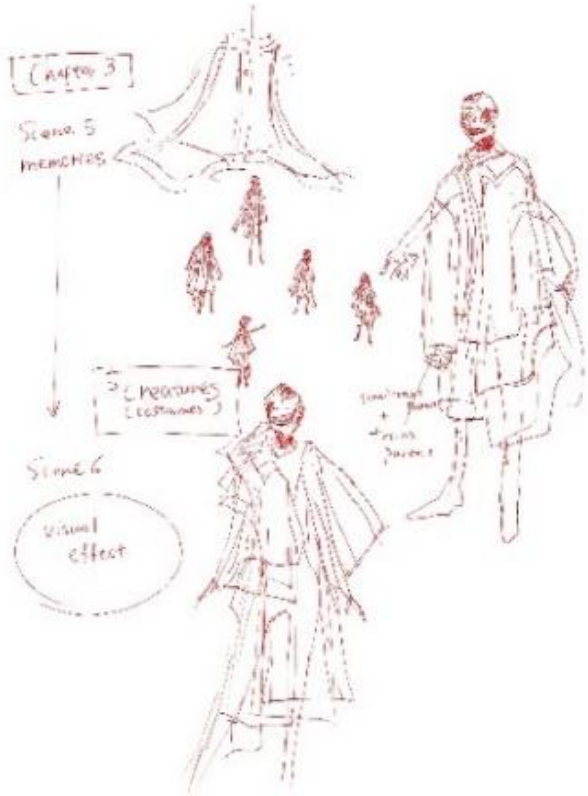
2006 年「SOMA DESIGN」を設立。同時にブランド「SOMARTA」を立ち上げ東京コレクションに参加。第 25 回毎日ファッション大賞新人賞・資生堂奨励賞受賞。単独個展「廣川玉枝展 身体の系譜」の他 Canon[NEOREAL]展 / TOYOTA [iQ×SOMARTA MICROCOSMOS]展/ YAMAHA MOTOR DESIGN [02Gen-Taurs]など企業コラボレーション作品を多数手がける。2017 年 SOMARTA のシグニチャーアイテム"Skin Series"が MoMA に収蔵され話題を呼ぶ。2018 年 WIRED Audi INNOVATION AWARD を受賞。
http://www.somarta.jp

東京 2020 オリンピック・パラリンピックではポディウムジャケット(日本代表選手団が着用するオフィシャルスポーツウェア)をアシックスと協業し手掛けた国際的ファッションデザイナー/アーティストの廣川。
本公演では、森山未來とエラ・ホチルドが彼女の作品にインスピレーションを受け、新たなピースが生まれる。

Costume/References

上は大分県別府市で毎年開催される芸術祭「in BEPPU」2021-2022 シーズンにアーティストとして招聘された際の作品「Matsuri」。
下の写真は、Lady Gaga も愛用するコンピュータープログラミングを取り入れた無縫製ニット「Skin Series」。

Costume/Sketch



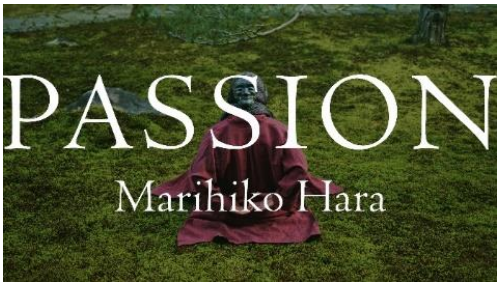
Soundscape

原摩利彦
Marihiko HARA

ジャンルにとらわれず、様々な分野で独自の音楽を提案する音楽家。京都市立芸術大学の学生を中心に結成されたボーダーレスなアーティスト集団、ダムタイプにも参加。現在は積極的に映像作品や舞台作品への楽曲提供やコラボレーションを行い、映画『流浪の月』(2022 年)や、NODA・MAP「Q：A Night At The Kabuki」(2019 年)、「フェイクスピア」(2021 年)にも参加している。
8 月 27 日(土)～10 月 30 日(日)の期間中、太田市美術館で写真家・津田直との共作インスタレーション作品「トライノアシオト―海の波は石となり、丘に眠る」を展示予定。

アーティストとしての楽曲リリースや舞台や映像作品への音楽提供などジャンルを越えての活躍が目覚ましい原摩利彦。
森山未來が出演した東京オリンピック2020開会式での鎮魂の舞でも制作を共にした二人は
エラ・ホチルドと共に本作品においてもオリジナルサウンドスケープを制作する。

Soundscape/References



©2022「流浪の月」製作委員会

NODA・MAP 第 24 回公演「フェイクスピア」
作・演出：野田秀樹

左は森山未來が MV にも出演した原のオリジナルアルバム「PASSION」(2020 年)。
中央は映画音楽を担当した李相日監督の「流浪の月」(2022 年)。
右は舞台音楽を担当した NODA・MAP 第 24 回公演「フェイクスピア」(2021 年)。

Sound/Image

沈黙からひとつの音が生まれ、少しずつ増えて群れとなる様子。
孤独で小さな部屋から広大な海へとつながっていくような音の流れ。
そこではどんな旋律が聞こえてくれるのか。今まさに試行錯誤しています。

原　摩利彦

Graphic Design

岡﨑真理子
Mariko OKAZAKI

グラフィックデザイナー。慶應義塾大学SFC、Gerrit Rietveld Academie(オランダ)卒業。
芸術／文化領域を中心に、観察とコンセプチュアルな思考に基づいた、編集的／構造的なデザインを探求している。
近作に企画・キュレーションから行った展示「Syntactic Forest」、ドローンミュージックのコンサートピース「INTERDIFFUSION A Tribute to Yoshi Wada」、森山未來氏出演のダンスパフォーマンス「TOUCH」、アートユニット・エキソニモのプロジェクト本「A Decade to Download」(Whitney Museum 収蔵) 等のグラフィックデザイン。
掲載誌に「アイデア 396 号 色彩デザイン再考」(誠文堂新光社)「来るべきデザイナー 現代グラフィックデザインの方法と態度」(グラフィック社)等。
現在は国立新美術館、十和田市現代美術館をはじめとして、美術関係のクライアントからの仕事が多数進行している。

美術、ファッション、建築、写真、音楽、パフォーミングアーツなど、
さまざま芸術／文化に関わる分野のアートディレクションに携わるグラフィックデザイナー・岡﨑真理子。
本作のキービジュアルは写真家・伊丹豪、スタイリスト・小山田孝司、ヘアメイク・外山友香、
グラフィックデザイナー・田岡美紗子、との密接な対話を経た協働により制作。
森山未來とコンセプトを共有し、コミュニケーションを重ねながら、
さまざまなイメージを想起させるオリジナリティあふれるグラフィックに仕上げた。

Dancer

「FORMULA」には、現在も国内外で活躍を続ける世界的一流ダンサーたちが一堂に会する。
世界中のダンスカンパニーと協働してきたエラ・ホチルドと
さらに、中野信子をはじめとした色鮮やかなアーティストたちと彼らはどのような化学反応をみせるのか。

©関澤 朗

川合ロン
Llon KAWAI

国内を中心にダンサーとして活動。質量と柔軟性を兼ね備えた強靭なダンスを独自のスタイルとする。山田うん、北村明子、Inbal Pinto 等、国内外の振付家及び演出家のダンス、演劇、映画、ミュージカル、MV などに出演。衣装家ひびのこづえとのコラボレーションや、上智大学、成城大学での非常勤講師など活動は多岐に渡る。

©Satoshi Tsuchiyama

笹本龍史
Ryoji SASAMOTO

舞踊家・振付家。
米ダンスマガジン
『観に行くべき 25 人のダンサー』
選出。
New York Dance &
Performance Award より
Outstanding performer Award
受賞。
山口県下松市在住。METHOD B
STUDIO 共同主宰。

東海林靖志
Yasushi SHOJI

HIPHOP カルチャーの影響で
15 歳から踊り始める。 2013 年
から平原慎太郎が主宰する
OrganWorks に参加。 近年は
Carmen Werner、島地保武、
Inbal Pinto 等の作品に出演。
現在フリーランスの舞踊家/電気
工事士/ドライストーンウォーラー
(石積職人)として北海道を拠点
に活動中。

鳴海令那
Rena NARUMI

3 歳からクラシックバレエを始
め、15 歳よりフランス、
カナダでトレーニングを積む。
ドイツウィースバデン州立劇場、
スウェーデン王立バレエ団、
ネザーランドダンスシアター1、
現在はクリスタル・パイト率いる
Kidd Pivot に所属。
世界で活躍されている振付家の
作品に多数出演し、
各国主要劇場で公演している。

©Joris-Jan Bos

湯浅永麻
Ema YUASA

ネザーランドダンスシアターに
11 年間所属後フリーとなり、
様々なアーティスト達からのオフ
ァーを受けダンスや演劇など世
界中で公演する一方、自らも
XHIASMA project を立ち上げ、
様々な著名アーティスト達と作
品を発表。第 13 回、15 回日本
ダンスフォーラム賞受賞、振付
家としても活躍している。近年は
ダミアン・ジャレ x 名和晃平や、
岡田利規の新作に参加。

Credit

構成・演出・振付
森山未來／中野信子／エラ・ホチルド

出演
森山未來／エラ・ホチルド
川合ロン／笹本龍史／東海林靖志／鳴海令那／湯浅永麻
中野信子 XR（Cross Reality）

セノグラフィー 川俣正
衣裳 廣川玉枝
音楽 原摩利彦
グラフィックデザイン 岡﨑真理子＋田岡美紗子

展示作品提供（予定） 佐久間海土（サウンドアーティスト）／松澤聰（映像作家）

テクニカルディレクター 遠藤豊
舞台監督 川上大二郎（Scale Laboratory）
照明 田代弘明 （DOTWORKS）
音響 中原楽 （LUFTZUG）

ビジュアル撮影 伊丹豪
ビジュアルスタイリング 小山田孝司
ビジュアルヘアメイク 外山 友香(mod'shair)

制作 河内崇／後藤かおり／目澤芙裕子
ブランディングアドバイザー 上村祐介
企画協力 デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）
ビジュアル衣装協力 Julia Heuer
企画・制作・主催 サンライズプロモーション東京
協賛 イープラス

《リサーチ協力》

大谷燠 NPO 法人 DANCE BOX エグゼクティブディレクター
児玉北斗 振付家／ダンサー／芸術文化観光専門職大学講師
QUICK／福井貴彦 MuDA 代表 ダンサー・振付家・美術家・整体師
小屁健太 ダンサー／振付家
佐久間海土 サウンドアーティスト
竹内梓 ダンサー
塚田有那 編集者・キュレーター、一般社団法人 Whole Universe 代表
塚原悠也 contact Gonzo メンバー
中間アヤカ ダンサー
藤原辰史 農業史研究者／京都大学人文科学研究所准教授
松澤聰 映像作家
山極壽一 人類学者／総合地球環境学研究所所長／第 26 代京都大学総長

Schedule

全国 6 都市(東京/仙台/福岡/大阪/名古屋/高知)にて開催

東京公演
日程:2022 年 10 月 15 日(土)~23 日(日)
会場:東京芸術劇場 プレイハウス(東京都豊島区西池袋 1-8-1)
主催:サンライズプロモーション東京

仙台公演
日程:2022 年 10 月 25 日(火)
会場:電力ホール(宮城県仙台市青葉区一番町 3-7)
主催:仙台放送/キョードー東北/サンライズプロモーション東京

福岡公演
日程:2022 年 10 月 28 日(金)~30 日(日)
会場:キャナルシティ劇場(福岡県福岡市博多区住吉 1-2-1 キャナルシティ博多ノースビル 4F)
主催:RKB 毎日放送/サンライズプロモーション東京

大阪公演
日程:2022 年 11 月 3 日(木)~11 月 6 日(日)
会場:サンケイホールブリーゼ(大阪府大阪市北区梅田 2-4-9 ブリーゼタワー7F)
主催:サンライズプロモーション東京
協力:MBS テレビ

名古屋公演
日程:2022 年 11 月 9 日(水)~10 日(木)
会場:日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール(愛知県名古屋市中区金山一丁目 5-1)
主催:サンライズプロモーション東京
後援:東海テレビ放送

高知公演
日程:2022 年 11 月 13 日(日)
会場:高知県立県民文化ホール オレンジホール(高知県高知市本町 4-3-30)
主催:高知さんさんテレビ/サンライズプロモーション東京/
高知県立県民文化ホール(高知県立県民文化ホール共同企業体)

INFO

〈チケット料金〉

●	
SS席：	10,000円
S席：	7,800円
A席：	5,800円
U-25席*：	3,500円

*イープラスのみ取り扱い

★	
SS席：	9,000円
S席：	6,800円
A席：	4,800円
U-25席*：	2,500円

＜スケジュール＞

〈東京〉　東京劇場プレイハウス

	10月15日（土）	10月16日（日）	10月18日（火）	10月19日（水）	10月20日（木）	10月21日（金）	10月22日（土）	10月23日（日）
12：15開場 13：00開演							●	
13：15開場 14：00開演	●	●		★	★			●
17：15開場 18：00開演							●	
18：15開場 19：00開演			★	★		★		

〈仙台〉　電力ホール

	10月25日（火）
18：15開場 19：00開演	●

〈福岡〉　キャナルシティ劇場

	10月28日（金）	10月29日（土）	10月30日（日）
13：15開場 14：00開演		●	●
18：15開場 19：00開演	●		

〈大阪〉　サンケイホールブリーゼ

	11月3日（木・祝）	11月4日（金）	11月5日（土）	11月6日（日）
12：15開場 13：00開演	●		●	
13：15開場 14：00開演				●
17：15開場 18：00開演	●		●	
18：15開場 19：00開演		★		

〈名古屋〉　日本特殊陶業市民会館　ビレッジホール

	11月9日（水）	11月10日（木）
13：15開場 14：00開演		●
18：15開場 19：00開演	●	

〈高知〉　高知県立県民文化ホール　オレンジホール

	11月13日（日）
14：15開場 15：00開演	●